

# 共生と循環の哲学～永遠を生きる

梅原 猛

- \*ニーチェの思想である「永劫回帰」ではなく「永劫循環」  
～人類の歴史と共に始まった環境破壊・・・
- \*自利・利他行～自分も楽しいけれど相手も喜ばせる、自分が利益して相手にも利益を与える、男女の愛も・・・
- \*「日本の深層」～縄文土器文化の土器は世界最古の土器で1万2千年前のもの  
2千年前迄続いた、正確には2300年前から弥生時代～600年間
- \*美輪明宏さんはあの世が見える（私・梅原猛は少し見える）  
瀬戸内寂聴（天台寺二戸市住職）この世とあの世は「あべこべ」と
- \*ねぶた祭～縄文の精神・祭り・つまり魂をあの世に送る祭り
- \*祇園祭は怨霊鎮魂のドラマ・・・祇園社今の八坂神社はスサノウノミコト祀り
- \*北野天満宮は菅原道真の鎮魂社
- \*早良親王を祀る藤森神社～神主は親王の親戚であり五百枝五の子孫。  
上御霊神社の神主さんは小栗栖さんで五百枝王の子孫、そしていまだに親戚  
づきあい・1200年も
- \*東山の麓に鳥辺野～秀吉を祀っている豊国廟六波羅密寺がある（どくろ寺と  
いう意味）六道珍皇寺～生と死の境に井戸があってあの世に通じる、あの世か  
らの出口の井戸は嵯峨野清涼寺の隣の薬師寺に7つの井戸がある、薬師寺の  
地獄絵はお地蔵さんが全ての衆生の苦を自分が背負う姿
- \*伏見の稲荷は自然の山そのものが神体、この山の森を大陸から来た秦氏が開  
拓・秦氏は全国を旅して商売した神に
- \*東福寺は京都で一番大きい禅寺で建仁寺の次に古い寺・その次は南禅寺・相国  
寺・天竜寺・大徳寺～東福寺の前身は法性寺で藤原忠平が925年に建立・伏見  
全体が入る程大きな寺であった藤原家を恨んで死んだ菅原道真を祀っている。  
法性寺の名残で境内の退耕庵の入り口にある小町地蔵は平安時代の小野小町  
が貰った沢山のラブレターを貼り合わせて作ったと伝えられている、愛欲の  
世界から悟りを開く願いの地蔵、又小町の子孫とされる小野於通（武蔵に出  
てくる実在の人物）が北政所に頼んで作られたとも云われている。
- \*藤原道長は宇治に別荘を持っていた息子の頼道がそれを寺にした1053年それ  
が平等院、対岸に宇治上神社と宇治神社（うじのわいらこを祀っている）この  
人は応神天皇に可愛がられて次の天皇になれと云われたが兄の仁徳天皇に位  
を譲って自殺この皇子を祀った宇治上神社は平等院と並んで世界遺産に指定
- \*法隆寺は世界最古の木造建築で聖徳太子を祀ってある荘厳な

美術品の宝庫～私・梅原は聖徳太子の鎮魂寺であると

\* 本願寺教団の隆盛～親鸞聖人は数千人の弟子しか作らなかったが何代か後に蓮如上人により数百万人に、キリストもしかりでパウロは1日に百人の信者

\* 森の国スウェーデンは環境保護国、ところが・森林大国 2 位の日本は極めて不十分、文学者である自分の責任であると考え環境悪化を人類の危機と受け止め全力でこれへの対処をすべく、少しでも環境改善になるような秀れた文学作品を創造していきたいと、その意味で宮沢賢治の作品は自然との共生思想として実に立派であると

\* 神道の原理～アイヌや沖縄は縄文文化を良く保持しており、その宗教の中には二つの原理がある

①人と他の動物はいずれもこの地球上の平等な住民である・熊は人間の客人であり、熊は土産として皮と肉をたずさえてきた

②循環～すべての生きとし生けるものは私たちのその魂が生と死を循環する人が死ぬと一足先に逝った父母が待っているあの世に逝きキリストの様な天国や地獄の区別や仏教のような極楽と地獄の区別はないと、すべて平等但し良いことをしてきた人は早くこの世に帰り、悪いことをした人は遅くこの世に帰ってくると日本人は個人の墓は作らず家の墓に入る今の日本人は人間の霊をあの世に送る葬式や年忌供養・お盆の行事は仏教、再生の方は神道、結婚式・七五三の祝いは神社です。

\* 仏教を日本に定着させるのに最も大きな力を発揮したのは聖徳太子であり、中国のような律令社会を作ろうと理想心に燃えた、力があれば誰でも出世できる身分制の枠を取り除き、その為の仏教の平等の原理が必要だった。日本に移入されたのは大乘仏教、小乗仏教は禁欲、ブッダが人生は苦であり、その原因は愛欲にある、そのために涅槃（ねはん）一切の過去を悔やまず、一切の未来を思い患うことなく何事にもとらわれず恐怖も不安もなく満ち足りて平和で至福に満ちた心境、大乘仏教の中で日本仏教に最も大きな影響を持った真言密教は「大胆な愛欲の肯定」「参拝する仏は人格神として釈迦という仏陀ではなくて自然神としての大日という仏陀」大日如来は太陽を神格化したもの

この様にした日本の森の中にいる神と仏教は共生することになり神道と仏教が共有する原理が確立した。「山川草木悉皆成仏」共生と循環の原理は地球環境破壊が 21 世紀の人類にとって最も重要な問題と思われ、その時に世界の文明の原理として十分意味を持つと思う、日本の宗教思想が未来の人類に対して持つ意味もその点に存在すると

( 完 )